

花巻市立東和図書館 〒028-0115 岩手県花巻市東和町安俣6区90
Tel.0198-42-3202 Fax.0198-42-3208
図書館：9:00～18:00 視聴覚室・談話室：9:00～21:00
休館日：月曜日・祝日・資料整理日・年末年始

令和7年度 第2回花巻市読書活動推進みんなでライブラリー
大募集！みなさんのおすすめ本教えてください
心に残っている本、役に立った本など何でもOK！
専用のカードに「書名、著者、おすすめ理由」を記入！
館内設置の回収Boxに投函しましょう！
令和8年3月1日(日)まで、まだまだ募集中！

2025年12月のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
展示スペース ギャラリーのご案内 阿部正介切り絵 「京都慕情」展 12/2(火) ～12/26(金)	1  全館休館	2 資料整理日 他館休館 石鳥谷	令和7年度 第2回花巻市読書活動推進みんなでライブラリー 「みなさんのおすすめ本&紹介カード」展 12/3(水)～令和8年3/1(日) みなさんから寄せられたカードも展示します！			6
7 世界KAMISHIBAIの日 「紙芝居文化の会」が制定。 紙芝居を通じて国内はもちろん国際交流も深めたいとの思いから記念日名を「KAMISHIBAI」と表記した。	8 他館休館 石鳥谷	9 	10 世界人権デー 日本では12月4日～10日の一週間を「人権週間」としている	11 	12 漢字の日	13 土曜親子映画会 ミッキーマウス ブルート みんな大好きなミッキーがいっぱい！「ミッキーのアイス・スケート」など3話を上映。 人気者ブルートが仲間たちと大はしゃぎ「ブルートの遊び友達」など3話を上映。 東和図書館 視聴覚室 10:30～(45分)
14 南極の日 1911年(明治44年)のこの日、ノルウェーの探検家ロアルド・アムンセン(Roald Amundsen、1872～1928年)と4人の隊員が世界で初めて南極点に到達した。	15 他館休館 石鳥谷	16 17  移動図書館あやめ号 毎月第3火・水曜日に運行します		18 源内忌 静電気発生機のエシキテル・石綿耐火火布の火浣布・寒暖計などを発明。	19 	20 
21 アニメ作品 日曜くつろぎの映画会 駒田蒸留所へようこそ 先代の父亡き後、実家の「駒田蒸留所」を継いだ若き女性社長が、経営難の蒸留所の立て直しと共に、災害の影響で製造できなくなった幻のウイスキーの復活を目指す。 東和図書館 視聴覚室 14:00～(91分)	22 他館休館 石鳥谷	23 	24 	25 	26 	27 ピーターパンの日 1904年イギリスの劇作家ジェームス・バリーのがロンドンで初演。大人にならない永遠の子もたちがおとぎの国・ネバーランドで楽しい冒険を繰り広げる物語。
28 資料整理日 全館休館	29 30 31  年末年始休館 12/29(月)～1/3(土) 返却は玄関脇ポストをご利用ください					

企画図書展

「東和図書館20周年記念ベストリーダー」展
12/3(水)～2/1(日)

テーマ図書展

「ゆく年 くる年」展 12/3(水)～12/27(土)

移動図書館 あやめ号 ステーション 到着時刻表

12/16(火)

谷内振興センター 9:45
ワークまほろば 10:10
北 信 12:00
田瀬簡易郵便局 12:45
旧倉沢簡易郵便局 13:20
マルルまほろば 14:00

12/17(水)

小山田スーパーおっほ 10:40
いづな 13:35
成島振興センター 14:10
幸田物語 14:35
東和プラム 15:00



約1800冊搭載
貸出冊数/5冊
翌月巡回時まで

聞いて♪聞いて♪東和図書館は2005年12月1日に開館しましたーあれから20年、たくさんの方にご利用いただき、日々資料も職員も磨かれています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

「図書館インフォメーション」(広報はなまき12/1号 12/15号より)

「わたしのおでかけ準備 Get Ready With Me」
みみかん // 著 飛鳥新社



あの本が生まれる前には、作る人たちの「忙しい朝」があった。作家、編集者、デザイナー、印刷営業、書店員、そして読者。すこし不器用で、まっすぐな本にかかわる人たちの朝をのぞき見るオムニバスコミック。

●おとなの本棚

「日本育ちが世界で戦うためのアスリート流英語習得術」
タカサカモト // 著 大和書房
「サクッとわかるビジネス教養 睡眠の新常識」
櫻井武 // 監修 新星出版社

「じかんはともだち」 てづかあけみ // 作 偕成社

8時までにしかける準備をして、12時にお昼ごはんを食べて…でも、いったい時間ってなに？1秒、1分、1時間、1日。地球上にあるいろいろな時間、生きものによってもちがう時間など、時間について考える絵本。



●こどもの本棚

「まほうのはみがきこ」
志津栄子 // 作 まつながもえ // 絵 金の星社
「たねはいのちのおわりとはじまり」
鈴木純 // 著 ブロンズ新社